

都留市地名考

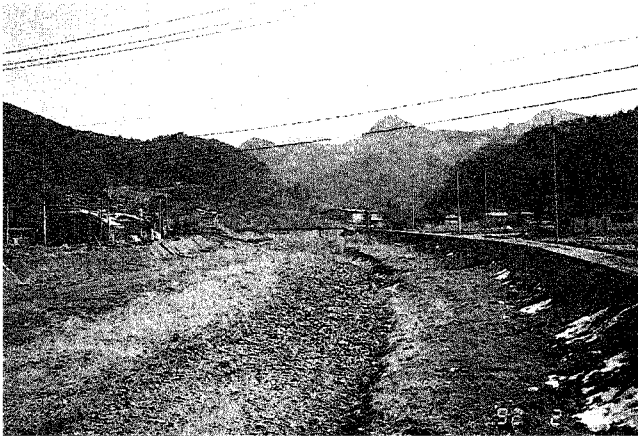
その六

窪田 薫

与縄・蛇ノ宮

与縄の地名について、「昔土地を測量する際は縄を用いて測ったが、都留市の井倉、朝日の両集落から測りだしたら、丁度この地で縄が余ったから、余縄すなわち「与縄」とつけられた」と伝えられてきた。

与縄の地名について『地名語源辞典』に、「よな〔与那・米〕ヨナという語は、①砂、②火山灰、③米という三つの意味が考えられるが、地名として使われる場合は砂の意らしい」と述べ、例として「与那鞆」をあげている。



与縄橋より朝日川の上流を写す。向かって右側の山裾は小字「蛇ノ宮」

石和町に「砂原」の地名があり、鵜飼川の氾濫で一面砂原と化したため、つけられた地名とのこと、都留市にも鹿留の奥に鹿留川に添って砂原の地名がある。

与縄の地名もたび重なる朝日川の氾濫により、砂礫が次第に集積し、砂原の状態になったことに起因するものであろう。

与縄、盛里、朝日馬場に「蛇ノ宮」と称する小字があり、朝日川の左岸にそって続いており、蛇ノ宮が祀ってあったが昭和二十九年の耕地整理で廃祠となった。今の東洋化学産業会社地(盛里一六三三)の一部はその跡地だという。

蛇ノ宮の「蛇」の字は宛字で、湯・

水のことを幼児語で「オプー」、「プー」などといい、また水の泡を「アブク」、水に溺れることを「アブアブ」という。アブは水、転じて川の意も含まれているのではなからうか。福島県の阿武隈川は広く知られている川名である。「蛇ノ宮」とは水や川の神(水神)を祀った社で、朝日川の度々の氾濫による被害からのがれるため、地元住民が祀った神社にかかわる地名である。

尾県郷土資料館 ホタル観察会

尾県郷土資料館協力会では「アミニティ小形山事業」として資料館への協力活動の他に『蝶の公園づくり』『鎌倉街道整備』、『ホタルの里づくり』などに取り組んでいます。

このたび、ホタルの観察会を計画しました。夏の夜の豊かな自然からの贈り物「ホタル」を一緒に観察しませんか。

日 時 7月18日(土)

午後7時～9時

雨天の場合、19日(日)に順延

集合場所 尾県郷土資料館
集合先 尾県郷土資料館

☎(45)0675(火・木・土・日 午前10時～午後4時)

雨天等の場合、当日午後四時までに尾県郷土資料館にお問い合わせください。

第二回 野外植物観察会

五月に実施した楽山自然遊歩道～元坂の観察会に続き、都留文科大 学森江晃三教授を講師にお迎えして、今回は城山周辺を歩きます。身軽な服装と、足元は滑らない歩きやすい履物でお願いします。天候によっては帽子や雨具を用意された方が良いでしょう。

日 時 7月12日(日)

午前9時30分～正午

小雨決行(雨天中止)

集合場所 市役所庁舎入口
定員 40名
締切 7月8日(水)

※参加料は無料ですが、保険料として一人百円をご負担いただきます。申込・問合せ 市教育委員会 社会教育課

ふるさと祭り 7月

- 7月7日 七夕
- 10日 四万六千日 普門寺
- 15日 お天王さん(祇園祭) (横町)
- 18日・19日 都留市体育祭 住吉球場他
- 24日 愛宕地蔵尊 長安寺
- 25日 お天神さん 天神社 (鍛冶屋坂)
- 太宰府天満宮祭 永寿院
- 26日 奉納相撲 太宰府天神社(境)
- 8月1日 石船神社例祭 石船神社

かんぽ資金 まちづくり 写真コンクール



郵政省では、簡保資金が公共的分野に融資され、社会資本の充実に役立ち、住民の福祉の向上に寄与していることを一般の方々に知っていただくため、次の要領で「かんぽ資金まちづくり写真コンクール」を実施していますので多数の応募をお待ちしています。

簡保資金の融資でつくられた施設を題材とした明るい写真(学校、体育館、公営住宅、道路、市民会館等) 市民会館等)

受付期間

六月一日から八月三十一日

応募作品の受付

最寄りの郵便局

応募規定

○作品の大きさ

一般の部：カラー、白黒とも四ツ切判以下

小・中学生の部：カラー、白黒ともキャビネ判以下

なお、応募票は市内の各郵便局にあります。